

元気な京都を

自然エネルギーで クリーンな

飛躍させることができます。

新しい知事の決断でエネルギー転換を

自然エネルギーに転換しましょう。

太陽光・風力・小水力・地熱などの

石炭・石油などの化石燃料を

京都府知事選4.8

「京都府民でよかった」 実感できる府政に

働く人たちの解雇・ハラスメント・残業代不払い…

個々の事件を解決しても、それは対症療法にすぎません

京都府の果たす役割には大きなものがあります

京都府民でいてよかった

府民の皆さんにそんな風にも実感してもらえる府政を実現したい

弁護士として培ってきた知識と経験をいかして

府民の皆さんとともに「つなぐ京都」をめざしたい

——福山和人さんは呼びかけています



1961年3月5日伏見区生まれ。57歳。家族は妻と長女・長男、母。宇治市立西大久保小学校、西宇治中学校、京都府立城南高校、立命館大学法学部卒業。1999年司法試験合格、2001年弁護士登録、2015年度京都弁護士会副会長

ふくやまかずひと
福山和人
さんが
呼びかけ



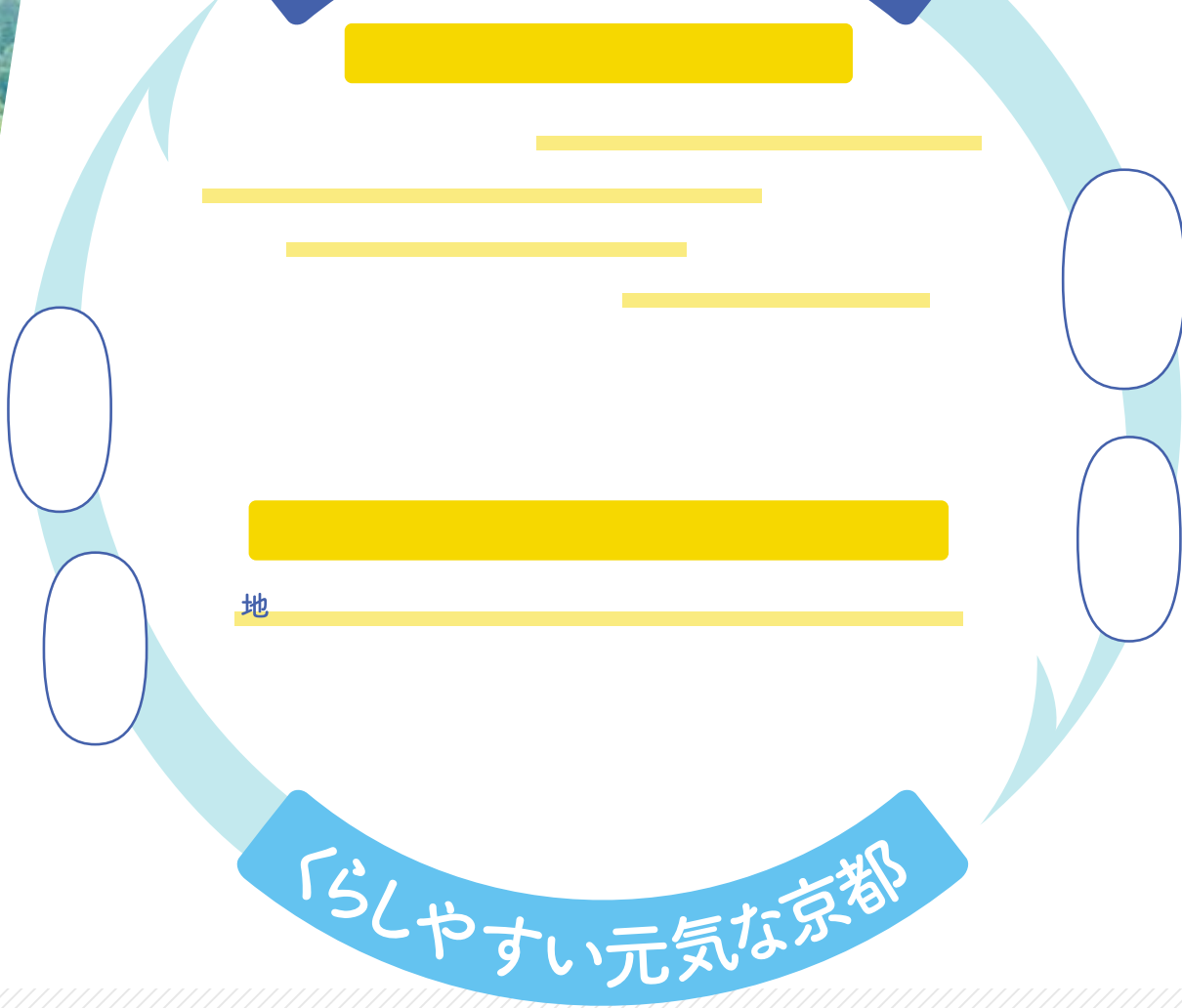
市民参加の選挙に チャレンジ

2015年、福山和人さんが京都弁護士会副会長を務めていたとき、安保法制が国民的議論となり、立憲主義を守るための集会などが開かれました。そこで培われたつながりをもとに、市民の皆さんと政党が手をつなぎ、福山和人さんを押し上げる「つなぐ京都」が生まれました。

みんなが参加する、みんなの京都、
みんなの力をあわせてつくみましょう。



脱原発・エネルギー転換



自然エネルギーによる 雇用と人口の増加

国内でも自然エネルギーに積極的に取り組む西粟倉村(岡山県)や下川町(北海道)では、関連産業での雇用が生まれ、I・Uターン者が増加し、近年、人口の流入が増加しています。

省エネにより 売り上げアップ

世界最大の小売店ウォルマート社は、自然の太陽光の明るさを店内に取り入れた結果、光熱費が下がり、また売り上げがアップしました。

府内の企業・地域の 市民が主人公

大型プロジェクトは大企業が主導権を持ち、計画が実現しても府内からお金が流出します。自然エネルギーと省エネ計画は即効性があり、府内の地域企業と地域の住民が主導権を取れる計画です。

自然エネルギー導入で災害に強い京都府を作りましょう。